

授業展開案 高等学校英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

1 テーマ

自分の考えを伝える・助動詞(used to)

2 I C T 利活用のねらい

説明を聴くだけでは過去形との違いが理解しにくい used to の用法をイラスト付きのスライドで提示することにより、理解を助ける。また、スライドを見ながら自分のことを表現できるようにする。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「助動詞(used to)」(Microsoft PowerPoint)

4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>前時の本文の内容の振り返り</p> <p>言語の働きについての導入</p> <p>表現の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面を提示して、文法を使いながらターゲット・センテンスを定着させる。 <p>自己表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことを中心とした活動 used to～を使う場面設定をし、ペアやグループでコミュニケーション活動を行う。 	<p>①説明の補助：生徒に辞書を引かせる。うまく辞書が引けない生徒のために、スライド上に意味を提示して確認する。</p> <p>②繰り返しによる定着：電子黒板に文を提示して2～3回リピートをさせながら、イラストも提示する。</p> <p>③繰り返しによる定着：電子黒板にイラストや写真を提示して、used to～を使った文を作らせる。ペアで行い、相手の言った内容に対し、聞き手はコメントをするように促す。</p>

5 ICT利活用のポイント

①説明の補助(図1)

教師が生徒と small talk を行いながら口頭で例文を提示する。ここでは、子どもの頃野球が上手だったという設定にしている。なるべく生徒が知らなかった、意外だと感じるような教師の一面を例文にし、現在とのギャップを感じさせる内容にする。その後辞書を引かせ、used to～の意味を確認する。最後に口頭で提示していた文をスライドで示す。

Today's point (今日のポイント)

used to ~ 「(以前は)よく ~したものだ
(かつては) ~だった」

When I was a child, I **used to** be a star player.
(ぼくは子どもの頃、スター選手だったんですよ)

When I was a student, I **used to** play baseball every day.
(私が学生の時には、毎日野球をやっていたものです)

図1 教師の説明資料

②繰り返しによる定着(図2)

いくつかの例文をイラストとともに提示して、口頭や文字による説明のみではなく、イメージをもって理解できるようにする。最初は音声のみで文を提示し、リピートをさせながら、文字、イラストの順で提示していく。現在との対比が理解できるように、スライドを切り替える。音声のみで理解できている生徒にとっても、英語が苦手な生徒にとっても視覚的に内容を確認できるようにする。生徒が身近に感じるような例文を提示し、興味・関心の喚起を図る。

I **used to** be rich but not any more.



I **used to** be rich but not any more.



図2 電子黒板を使った演習

③繰り返しによる定着(図3)

イラストや写真を提示して used to～を使った文を作らせる。ペアで行い、聞き手には“I didn't know that.” “Really?” “That's why you are～”等のコメントをするように指示する。英文は③であれば、“I used to be a baby.” だけではなく、“I used to be cute.” “I used to be innocent.” 等生徒の自由な発想を促し、コミュニケーション活動の活性化を図る。

Express yourself (表現してみよう)

「かつては①～③をやっていた/だった」と英語で言ってみよう。

①



②



③



図3 イラストや写真を表現する活動